



# 心をつなぐ

北九州市立田原中学校  
道徳通信 No. 4  
2014年11月13日

## 「働く」って・・・

「働く」ってどういうことですか？何のために「働く」のですか？みなさんならなんと答えますか？「お給料をもらうため。」「収入を得て家族の生活を維持するため。」もちろん、それは「働く」ことの正当な理由です。でも「働く」ことにはそれだけの動機（理由）だけでは乗り越えられないような厳しく、辛いと感じる時が待ち受けているのも事実です。そしてもちろん、「働く」ことには自分の夢を実現させる喜びや、なにかを成し遂げた時に得られる充実感が待ち受けているのも事実です。就職、職業という言葉の枠にはあてはまらない日々の「行い」や「奉仕」がどこかで誰かの役に立っている、それも「働く」ことなのではないでしょうか。

「自分が社会の中で誰かの役に立つ」、「自分が自分の生活を維持する」、この生きていくうえで欠かすことのできない「働く」こと。皆さんは社会にでるその日がやってくる未来に向けて進んでいます。それが「進路」を考えることです。3年生はいよいよ目前に具体的な目標が見えてきました。そして、1、2年生もいつかやってくるその日のために未来へつながる進路を模索しています。自分の進むべき道を考えるうえで「働く」ってどういうことだろうと考えてみることは大切なことです。自分の可能性を探るためにも「働く」って・・・考えてみませんか？

また、2年生は、「働く」ことについて考える素晴らしい機会を与えてもらいました。先月のはじめに62か所の事業所に快く協力していただき、「職場体験学習」を行いました。11月12日には総合的な学習の時間の研究授業でポスターセッションを行い、お互いがそれぞれの事業所で「働く」ことについて何を学んできたのか発表することもできました。また道徳の授業でも「働くことの意義」について考えることもできましたので、その授業の様子を少し紹介します。

## 「働くことの意義」

《道徳編》

【資料のあらすじ】

資料「社会からの無言の賞賛を感じる感性」

村上春樹氏の著書の中で登場人物のフリーライターが自分の仕事のことを「雪かき」と同じであると表現する。雪かきとは感謝されることの少ない地味な作業であるが、誰かがやらなければならないことである。実は、地味で注目されることのない仕事に取り組む人のおかげで社会はうまく回っているのだ。



・仕事はつらいことの方が多いかもしれないけど、自分のしていることが誰かのためになっているんだと信じて仕事をするのが大切なんだと思いました。



### 生徒の感想から

この学習を通して、すべての人々にやるべきことがあり、その内容や仕事に対する価値観は違っていても、働くことは社会で生きていくうえでの大切なことであるとわかりました。将来、人のため、自分のために働き、仕事に誇りを持っていられる社会人になりたいと思いました。

### ポスターセッション編

